活動目標

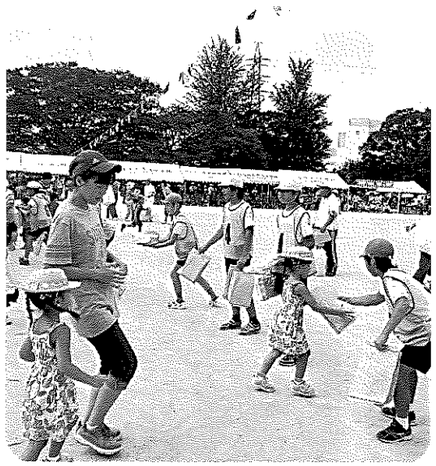
みんなのまちを
みんなの力で

助川

発　行 助川学区コミュニティ推進会
編　集 調査広報部
事務局 〒317－0071
日立市鹿島町1-21-7
助川交流センター内
TEL 0294-23-0955

助川学区大運動会

助川三世代レクリエーション大会



玉手箱

9月17日(土)真夏の暑さを思わせる中で地域の皆さんと児童が力を合わせてたのしい一日をすごしました。

当日は、にわか雨等のハプニングもありましたが、児童が猛暑のなかでの練習や先生の教えを守って実行したかいがあって充実した内容になりました。お父さんやお母さん、そしておとしよりと手をつなぎ一緒にかけっこしたり、ラケットにボールを乗せ、まごまごしないで一生懸命に走り楽しい汗をかきました。

校長先生が言われるように白組・紅組とも「勝っておごらず、負けてくじけず」児童と地域の皆さんが最後まで全力で戦いました。

来年助川小学校に入学するかわいいこども達を温かく迎え入れられるように、児童と地域の皆さんが一緒になって見守りましょう。

助川ふれあいの場

一災害を転じて福となす活動

助川コミュニティ推進会　会長　永井　久善

月日の流れは早いもので、あの3月11日の大震災から半年がたちました。改めて私たちの日立、そして助川のまちを観るとき、被害は比較的に少なかったと云えるでしょうが、今なお毎日のように余震があり、まちの中には屋根にブルーシートがかけられたり、塀や墓石など倒れたまま、工事中の足場掛けの建物も散見します。

これ迄にない震災に遭遇して私達は改めていろいろなことを感じました。

そして何よりも自力で解決いたさねばならないことが多数あります。

学区コミュニティとしても地域住民の皆さんの力を結集して、一つ一つ解決してゆく方向で努力いたします。

地縁のご縁をベースに隣近所がいかに大切か、そしてそれが基本です。

そのご縁にお互いの絆を結びつけて自助・共助・協働の精神にて住みよいまちにしたいものです。

折しも従前から事務局長として大活躍の青山光子さんが3月6日急逝され、活動の原動力を失うことに加え拠点施設の交流センターも震災により使用不能となるなど、日常活動に支障も来たしました。

落ちつかない中で新年度を迎える状況でした。少しく時を経ちましたが、新しい体制も整え心機一転、今後の活動に取り組みますので倍旧のご支援、ご支持をよろしくお願い致します。

助川学区の人口構成 (H22年1月1日現在)

人口	8,917名
男性	4,363名
女性	4,554名
65歳以上	2,315名
15歳未満	1,073名
高齢化率	25.9 %
平均年齢	45.88歳
世帯数	4,143

10月以降の行事予定

生活習慣予防教室野外研修
日時　11月5日(土)
場所　茨城フラワーパーク

助川演芸大会
日時　11月23日(水)
受付　9時
来場者200名様に昼食付き抽選券を差し上げます
歌・踊り・合唱等あります

利用者団体発表会
日時　12月2日(金)～4日(日)
日頃、交流センターに集う多くの皆さんが、それぞれにいろいろと学んだりしています。サークル活動成果の発表会と体験教室を、たのしんではいかがですか。

「体験教室内容」
レクリエーション・気功・自彊術・太極拳・将棋

暮らしの情報

空き巣連続発生　注意

今年、助川学区内でも空き巣が発生しています。

いずれも部屋を物色され、現金等が盗まれております。

～窓からの侵入を 防止するには～

家の窓のすべてに鍵を「ちょっとそこまで」とつい鍵をかけなかったときに狙われています。

防犯方法第一は「施錠」です。

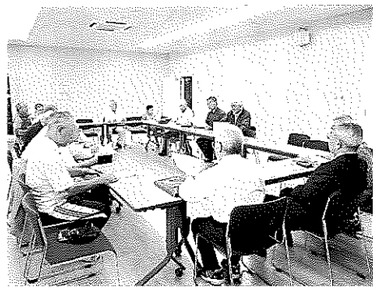
窓ガラスに防犯対策フィルムを張る、補助鍵をつける。

ビューティフル助川

違反広告物追放の推進

違反広告物追放推進員の委嘱状伝達式が10月3日実施されました。今後の活動が期待されます。

委嘱状、身分証明書、違反広告物追放推進委員の手引きが手渡されました。



伝達式

除去できる違反広告物とは

道路敷内の禁止物件街路樹・街路灯・道路標識・ガードレール・信号機柱・電柱・橋・横断歩道橋に掲出されたサラリーマンローン・パチンコ・風俗店・住宅見学会案内等のはり紙、立て看板です。

訃報

ありし日の
前青山事務局長

青山前事務局長を悼む

青山事務局長が3月6日に急逝されました。

故人は昭和63年に当時の助川学区市民運動の役員に就任以来長年日夜を問わずコミュニティ発展に尽力されました。

その日いつものように業務を終わり帰宅される時、両手と肩にパックをお持ちになりお帰りになる姿は今でも目に浮かびます。

次の日急逝の報を受けた時は、昨日の元気な姿を目にしているので信じられませんでした。

あなたの暖かさは受け継がれて行く事でしょう。

謹んで長年にわたるご努力に感謝し心からの冥福をお祈りいたします。

平成23年度助川コミュニティ推進会役員

再任・●新任役員紹介

会長　永井　久善
副会長　三井　新
　　秋山竹彦
　　椎名敦史
　　荒井秀昌
監事　三澤俊介
　　山崎猛夫
　　●鈴木征士
事務局長　佐藤まゆみ
事務局次長　寒河江邦光
会計担当　武田文雄
事業担当　鈴木博子
事業担当　滝勝行
事業担当　福祉
専門部長
調査広報　●長谷川正廣
環境美化　今井建夫
文化　●金津勇
体育　七井則之
防災　●渡辺英世
生涯学習　初鳥小百合
青少年対策　長山真人

編集後記

皆様から原稿をお寄せいただき有難うございます。

少しでも皆様に親しんで頂ける内容にしたいと思います。

皆様の身の廻りの事をどしどしお寄せ下さい。

防災施設見学

助川台自主防災会会長　武田　文雄

「そなエリア東京」前にて

本年度の自主防災活動として、東京都江東区有明にある東京臨海広域防災公園の「そなエリア東京」において体験研修会を9月4日に実施しました。

そなエリアとは有事に際して「そなえるエリア」を簡略した名称のことで、国と東京都が出資して作られた施設で、平常時は体験研修等に使われ、大震災等重大災害の際は首都圏の防災本部として機能する施設とのことでした。

体験コーナーでは地震発生後72時間の生存力をつけると称して「防災クイズ」に挑戦、視聴覚学習では大型画面の「首都直下型地震の体験」を学び、子どもが地震に遭遇して72時間逃げ惑う姿が、迫力あるアニメで表現され見事でした。

参加者は44名、大型バスで羽田の国際線ターミナルビル、お台場のフジテレビ本社ビル等も見学して、好評裡に体験研修を終了しました。

花の社会性と街づくり

R245号の花壇づくり会　代表　萩野谷勝治

花は美しく、華やかで見る人の心をやわらげ、育てる人には質の高い豊かさを実感させてくれます。

そして人と人、人と社会を継ぐ多様性と無限の可能性を持っていると言われています。

（花の社会に及ぼすプラスの影響を花の社会性というそうです）

欧米の数ヶ国では50年前から「花いっぱい運動」が始まり、さらに花による市民運動でコミュニティの再生や落書きの抑制、地方都市や農村の活性化等に成果をあげています。

阪神淡路大震災の仮設住宅では花づくりで人のつながりに成果があったそうです。

私達のグループは今、10人で245号国道300m位を第一・第三木曜日、2時間位（冬季は休み）作業しており、今後は参加者を倍増させ街づくり・市民活動へと進めればと考えています。

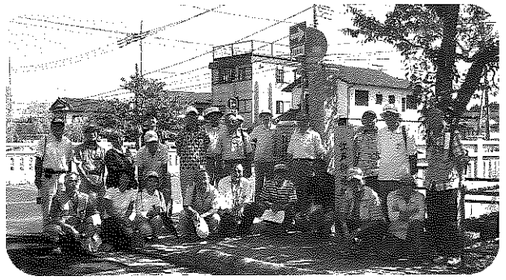
花壇の前で御苦労さま。

協力者を募集中（年数回の参加でも可）

萩野谷　TEL 21-1783

光圏の遺蹟を尋ねて

歴史講座


銷魂橋にて

9月15日、前期テーマの「徳川光圏の生涯」にちなみ、常陸太田・水戸方面へ光圏の遺蹟を尋ね総勢24名で野外研修を実施しました。

当日は残暑厳しい中、白馬寺から山寺水道・久昌寺などを廻り西山荘まで往時をしのびながら、本当によく歩きました。

歴史の勉強と健康づくりを兼ねた研修となり、とても有意義な一日でした。

ラジオ体操を続けて

鳩ヶ丘ラジオ体操の会　大越　すみ子

私達が平成16年9月に御殿山集会所の前庭でラジオ体操を始めて7年をすぎました。

今では日課になって10数人の仲間と毎朝ラジオ放送に合わせて6時半より続けています。

この会に参加して仲間との会話も楽しみですが、早寝早起きの規則正しい生活と、普段意識しないと動かさない動きが体操に入っているので、そのようなところも健康にとてもよいと思います。

雨の日は集会所室内で行い、晴れの日は清々しく、海から昇る太陽の日を浴びながら良い一日が始まり、とても幸せな気持ちになります。

月ごとの皆勤賞も励みの一つで、小さな賞状に20ℓのゴミ袋二枚の入った助川コミュニティ推進会の封筒が付いていますが、月初めに頂く賞状も50枚を超えました。

幸せな気持ちと健康に良いラジオ体操を、これからも毎日続けていきたいとおもいます。

朝の清々しい空気はおいしいな

青少年育成協議会

会長　長山　真人

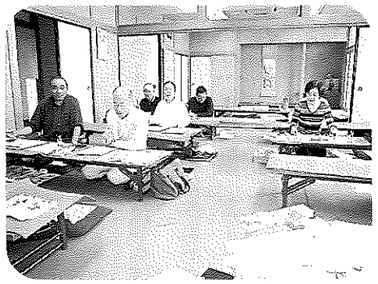
私達、青少年育成協議会の活動は、交流センターの中で、子育て支援〔はぁもにぃセミナー、おもちゃライブラリー等〕の継続的な事業もおこなっていますが、現在は地域の中で、子ども達に何を伝えていくべきか、助川の特性は何なのかを、理解してもらう事業に取組んでいます。

助川わんぱく隊として、夏休みに宿泊体験をし、8月下旬に蕎麦の種蒔き、10月には刈り取り、11月には脱穀などの農作業の体験をさせています。わんぱく隊鮎川探検では、川遊びの楽しさや、川の生物の実際を見せ、川がいかに人間に良い自然環境をもたらすか教えたりしています。

川遊びの楽しさがわかれば、学区の川の再発見や見直しにつながるだろうし、そばの種蒔き、刈り取り、脱穀を体験することで農作業の大変さを知り、収穫の後のそば作りでは自然の恵みを感じることができます。先人の知恵や工夫を子ども達に伝え、教えることの活動が多くなっています。

一緒に遊びながら、楽しみながら、子ども達の中に「助川の心」が芽生えることを思って活動を続けています。

書道同好会「蘖」


ひこばえ教室

会の名は「蘖」ひこばえといいます。

蘖とは切り株から芽生えたものをいいます。

鮮明に刻まれた年輪、その切り株から芽生えた芽、四季の風とひかりをあびて精一杯のびようとする、そして新しいみどりをかかげるそのような同好会です。

日々　超多様化している生活の中で墨の香りを身近にして書に親しむのも一興かとおもいます。

筆の持ち方、一本の線をかくことからはじめます。基本過程の練習、そして古典などにより書美の探究をしています。

書を通じて静かに自分自身とむかい合う、それは豊かな時の流れです。

硯と筆のみ持参すれば他は完備しています。

是非見学においで下さい。

練習日　月2回　第1・3木曜日
時間　13・00～15・00
会費　二千五百円
連絡先　助川交流センター
(23) 0955
(42) 2321　幹事　押切

シルバーリハビリ体操

この体操は、2年前から助川交流センターの中で「健康づくり教室」の一環として実施しており、現在会員は27名、指導者は6名で活動しています。

体操の趣旨は、主に高齢者を対象に元気で日常生活が送れるように、つまり寝たきり状態にならないための体操です。

定期的に最低限の運動をシルバーリハビリ体操指導士と一緒に行い、健康を維持するものです。

ゆったりと楽しく、効果的な体操を行っております。

シルバーリハビリ体操

是非一度足を運んで見学においでください。

毎週　火曜日
時間　午後1時30分～3時まで

まちかど情報

銀座モール街のキャラクターモルちゃん

モルちゃん

銀座モール街のキャラクターです。

通りかかったおりには、あたまをなでて恋愛・仕事・学業にすばらしいご縁をお願いしては。